



「生かす」「生かされる」

先月のことです。5月の生活目標は「そうじのしかたを身につけよう。」でした。1年生の振り返りでこのような意見が出ました。

- ・6年生がろうかのマスをつかっておしえてくれたから、そうじができるようになりました。
- ・ほうきのやりかたもおしえてくれて、できるようになりました。
- ・そうじができるようになってうれしかったです。

6年生が陸上大会に出かけた時も、1年生だけで、上手にそうじを行えたそうです。

それを聞いた6年生の振り返りは次のとおりです。

- ・自分たちも、一生懸命そうじした。
- ・1年生だけでできたということは、きちんと教えられたということだと思う。だから、◎！

6年生の誇らしげな顔が目に見えます。1年生と6年生の担任が、とても嬉しそうに話をしてくれました。まさしく「人のために自分を生かし、人から幸せをもらって生かされた」ということだと感じます。

6月は、4・5年生の自然教室、1・2年生、5・6年生の校外学習がありました。それぞれに、「生かし、生かされ」充実した体験ができました。



本年度行った、1回目の「学校生活アンケート」の「これからより良い学校生活にするために、どうしたらよいと思いますか。」の問いに「学年関係なく、みんなであそべばよい。」と書いている児童が多く、驚きました。1クラスの人数は少ないですが、二小ならではの体験がここにあると実感しています。

日々の学校生活をホームページで紹介しています。下のQRコードを読み取って「NEWS（新着情報）」



を、ぜひご覧ください。

校長

地域の方と環境整備

6月21日（水）のPTA環境整備に、みどりの里づくり協議会の環境部会の方々が12名も一緒に参加してくださいました。そして、自前の道具であつという間にグラウンドや駐車場をきれいにしてくださいました。これは、学校からお願いしたわけではなく、「鎌を使って手でやるのは大変だ。学校のことだ、一緒にやろう。」と声を掛け合って来てくださったのです。

代表児童から、「今回お知り合いになったので、地域で会ったら挨拶をしようと思います。」という言葉がありました。地域の方からは、「いやあ、子どもたちから元気をもらいました。また来ます。」と嬉しいお言葉をいただきました。

互いに知り合えるということは、地域コミュニティが活性化し、災害時の自助、共助体制づくりにもつながります。これからも、つながりを大切にしていきます。

ありがとうございました。



二小ドン(にこドン)デジタル化！

昨年度、二小のゆるキャラとして誕生した二小ドン(にこドン)が、この度、デジタル化されました。今後は、みどりの里づくり協議会のゆるキャラとして、のぼり旗など、様々な場面で活用していく予定です。

かわいがってください。

